

地域課題に対応した「協創的な教員養成・研修モデル」の開発： 学校と地域で学び続ける教師を支え育てる「岡山県北地域教育プログラム」

調査の概要

◆課題認識

- ・地域の課題解決に向けて「地域学校協働」という考え方や手法が求められている。
- ・その考え方を理解し、地域の課題解決を促していく教員、さらにはその養成が肝要。
- ・大学だけでなく、学校・教育委員会・大学が主体となってともに育てていく「協創的な教員養成」の理念をもとに、教員養成を行なっていくことが重要。
- ・養成と連動した「協創的な研修」も必要。

◆調査研究の目的

- ・岡山県北地域教育プログラムを中心に地域課題に対応した「協創的な教員養成・研修モデル」の開発

◆調査研究の方法

- ・アンケート調査により教育効果の可視化

◆連携組織

- ・岡山県教育委員会及び、岡山県北12市町村の教育委員会と県北地域の小中学校、NPO法人 manabo-de

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

①実習指導や支援の強化

- ・岡山県北地域教育プログラム支援員を導入して指導や支援の強化へ

②協創的な教員研修の試行と改善

- ・若手教員の授業力向上と校内研修の活性化へ
- ・学校拠点型研修へとリニューアル

③地域学校協働のトライアングル支援

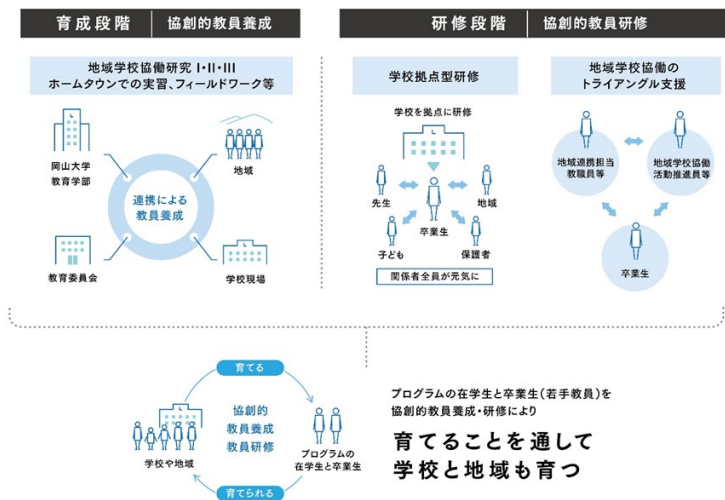
- ・NPOと行政と連携した協創的な教員研修の試行
- ・連携組織のタイプの違いを活かした研修の開発へ

④協創的な教員養成の検証

- ・卒業生等に対するアンケート調査によって教育効果の可視化が可能に
- ・同一学校における長期にわたる教育実習等の有効性を確認

◆成果

- ・本事業の成果をふまえて、教員養成と研修が一体となった「協創的な教員養成・研修モデル」を右上図のように開発し、その妥当性も検証することができた。つまり、協創的な教員養成は効果的に機能しており、安定的な教員輩出も可能になっていた。
- ・令和5年度卒業予定の教員採用試験受験率は、学校教育教員養成課程の場合100%、教員就職率も93.3%であり、本事業の達成目標もクリアした。
- ・「協創的な教員養成・研修モデル」にもとづいた「育てる一育てられる」のサイクルにより、「教員養成地域循環システム」が稼働し、教員養成をめぐる循環が拡がり始めている。



今後の課題

◆「協創的な教員養成・研修」の継続的な指導と支援

- ・プログラム支援員等の継続的な雇用により、指導や支援を継続化
- ・「考えさせる問いかけ」による授業実践力・生徒指導力といった実践的な力の向上